

潤滑油タンクで実績のある残液検知器に作動確認用チェッカーを付けました。



設置

前もって通気口に専用のブッシングを取付けておきます。



UT749B 残液検知器 の構成

- 1.微圧センサー (ステンレベラ)
- 2.エアチューブ 感知部 (錘)付き80cm (感知部大きさは：10Φ×100mm)
- 3.ブッシング (専用) : 3/4
- 4.作動確認チェッカー：ステンレベラ ON時 LEDの点滅

通気口に感知部から底に着くまで挿し込み、ブッシングにねじ込み固定するだけです。



このUT749B型はドラム缶の残液が5cm以下まで減ったときにONします。10cm以上の残液があればOFFになります。

ステンレベラは常時ONで8cmでOFFします。

従って残液が8cm以下だと検知出来ません。

接点は無電圧です。

空気圧で感知しますので、非導電性液体でも使えます。

特長

- 1.用途が広い。(液体に接する部分の材質を選ぶことが出来る)
- 2.作動確認用チェッカーでステンレベラの作動確認が容易。
- 3.作動確認用チェッカーは取り外せるので通信機器 (NCU) などへの接続が便利。

用途

各種液体の残液検知

フジコントロールズ株式会社

